

令和7年度入学者選抜 日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科  
看護学専攻（修士課程）一般入学試験（I期）解答用紙

| 科目   | 受験番号 |  |  |  |  |  | 志望領域 |
|------|------|--|--|--|--|--|------|
| 専門科目 |      |  |  |  |  |  |      |

問1. (配点2点×10=20点)

|   |      |   |           |
|---|------|---|-----------|
| ① | 月経   | ② | 尿中        |
| ③ | 胎児心音 | ④ | 胎動        |
| ⑤ | 7    | ⑥ | 3         |
| ⑦ | 9    | ⑧ | 頭殿長 (CRL) |
| ⑨ | 垂直   | ⑩ | 希釈        |

問2. (配点15点)

分娩経過に応じた産婦の基本的ニーズとして以下の内容が記述されており、かつそれぞれのニーズを充足するための看護について記述されていること。

- ・水分・栄養のニーズ
- ・排泄のニーズ
- ・清潔のニーズ
- ・睡眠・休息のニーズ

問3. 1) (配点5点)      2) (配点15点)      3) (配点15点)

1) 3.6%

2)

AさんおよびAさんの家族の退院後の課題として、以下の点が述べられていること。

<身体的側面>

産褥4日目の時点で、進行性変化（母乳分泌）は順調であること（ベビーの体重減少率も含めて判断できていること）、退行性変化（生殖器の復古）ともに順調ではあるものの、高齢出産であることや貧血があることにより今後疲労が蓄積し、進行性変化、退行性変化ともに阻害される可能性があること。

<精神的側面>

自宅に帰ってから体重計がないため、児の発育に対して心配があること。

<社会的側面>

本人、夫ともに実家が遠方かつ両親・義両親ともに高齢であることから、産後のサポートが見込めないこと。

3)

退院指導の内容として、以下の点が述べられていること。

<身体的側面>

- ・授乳以外の家事はなるべく家族にサポートしてもらい、休息できる時間を確保してもらうように
- ・貧血予防のための食事指導

<精神的側面>

- ・体重を測定しなくても母乳が足りているということがわかる目安（哺乳後の児の満足度、哺乳間隔、尿や便の回数等）について説明する

<社会的側面>

- ・両親、義両親のサポートが見込めないことから、社会資源（産後ケア等）についての情報提供を行う。

問4. (配点2点×5=10点)

|   |         |   |          |
|---|---------|---|----------|
| ① | 精子 (精液) | ② | 性感染症     |
| ③ | 排卵      | ④ | 女性 (女性側) |
| ⑤ | 着床      |   |          |

問5. (配点20点)

・男性の育児休業に関する現状をもとに、受験者自身の考えが述べられてこと。